

北海道教区報

第 598 号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>



次代を担うようぼくへ

春の学生おぢばがえり 学生会

3 月 28 日、立教 187 年春の学
生おぢばがえり(春学)が親
里で開催され、「次代を担うよ
うぼくへ」のテーマのもと、
全国各地の道につながる
高校生や大学生が
帰り集った。

教区学生会は、
25 日に教務支庁
を出発し、各地
から 57 名(学生
45 名、学担 12 名)
が参加した。

式典では、真
柱様より「おぢば
にお引き寄せいた
だき、お道の教えに導か
れる学生らしく、今の時
句の意味を考えて三年千日の
道を力強く進んでほしい」と
メッセージをいただいた。

今年の春学の趣旨である「道
につながる学生がおぢばに帰
り集い、親神様・教祖に日頃の
感謝を申し上げ、笑顔が広
がる姿をご覧いただきたい」をこ
の期間を通じて、感じてもら



うと学生会スタッフが参加学
生に声かけや寄り添う
ことを心掛けた。
学生会行事に初
参加の学生も
多く、お互
いが尊重し、
たすけあう
姿が垣間見
え、学生の
可能性を感
じる春学と
なった。

初席、中席者が
別席を運び、また満
席となった一名は、まさに
「次代を担うようぼくへ」と、
おさづけの理を拝戴された。

参加学生は、「就職のため、
最後の学生会行事が、この春
学で本当に良かったです。班の
人たちの交流の中で、たす
けあいを感じる事が出来、す
ごく嬉しく思いました。また、

溢れる笑顔



すべて喜び すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

高橋学生担当委員長は、「今
後の信仰、各教会につながる丹
精につとめたい」と抱負を述べ
た。

福祉厚生部

● 教区福祉募金

福祉厚生部（五十嵐仁部長）は、4月2日、令和5年度の教区福祉募金寄付活動として、南空知支部管内の三笠市社会福祉



ことぶき荘にて
豊島氏（右）

事業団特別養護老人ホーム「ことぶき荘」、養護老人ホーム「三楽荘」へ車イス3台と介護用品4点を、南空知支部・豊島進福祉部長が施設に出向し、事業団へ寄贈した。

● 献血推進研修会

4月2日13時から教務支庁大会議室にて25名の参加者が集まり、献血推進研修会が開催されました。

研修会では札幌市血液センター職員による献血セミナーが行われ、献血の歴史や現状についての深い理解を得ることができました。また、輸血体験者の感話を通じて、献血が実際に



献血推進研修会

（担当 北山元）

人々の命を救っている現実を身近に感じることができました。参加した学生会スタッフの一人からは、「献血セミナーで視聴したビデオを学生会の仲間たちに広めて、献血の重要性を共有したい。」と、献血の意義をより深く理解し、積極的に参加したいという声がかれました。今回は支部福祉担当者だけでなく、婦人会、青年会、学生会のスタッフにも広く参加してもらえたことで、献血の大切さをより幅広い層に伝えることができたと感じています。これからも『誰にでもできるおたすけ』をモットーに、道内の教友たちに「献血ひのきしん」の理念を広め、社会貢献の輪を広げていきたいと思えます。

● 支部担当者会議

4月2日の献血推進研修会終了後、「支部福祉担当者会議」が開催されました。17名が参加し、教区福祉活動に焦点を当て



支部担当者会議

た活発な議論が行われました。会議冒頭の教区長挨拶では福祉活動の重要性について熱く語っていただきました。その後、里親や福祉募金、こども食堂など様々な議題が取り上げられ、それらに関する報告や提案が行われました。また支部担当者からは積極的な意見が相次ぎ、充実した時間を過ごすことができました。

議事の最後には、初の試みとなる福祉フェスの開催が発表され、会議は和やかな雰囲気の中に終了しました。今回の会議を通じて、支部福祉担当者や教区

福祉厚生部がしっかりとコミュニケーションを図り、それぞれの活動を活発に進めていくことが大切であると再確認することができました。

今後も教区・支部の福祉活動を通じて、地域社会に貢献できるように様々な活動を推し進めていくことを誓いあい散会となりました。（報告 北山元）

支部委員長会議

青年会

青年会（岡田荃貴委員長）は、4月7日、教務支庁にて支部委員長会議を開催し、23名（リモート含む）が参加した。

14時より遥拝、あらきとうりよう指針を唱和。委員長挨拶では8月31日に予定されている「どさんこ総会」への協力を促した。

また青年会は6月から8月にかけて「OKG月間」と称し、行事強調月間を設定。総会に向けて支部行事の充実を呼びかけた。

後半は、支部委員長同士のねりあいを行い、総会に向けた意見交換や、今年度の支部行事について話し合った。「総会への声かけに全力を尽くす」「総会、おつとめに繋が

る行事を行っていく」という思いが、支部委員長から寄せられた。

17時をもって会議は終了。その後は懇親会が行われ、委員長同士の交流を図った。「若い力を結集して総会を準備し、全世代の教友が喜んでいただける内容にして参ります。お力添えのほど宜しくお願いします。」と委員長からのコメント。

「青年会の活動が成り立っているのは、「みなさんのおかげです！」



ねりあい

● どさんこ総会

8月31日

10時受付 11時開始

元一日と教区祭

— 主事 木岡喜久子 —



札幌に桜が咲くこの季節になると思い出します。平成25年5月、自教会で身上療養しておりました当時教会長の夫が、急に亡くなりました。その日はとにかく驚き悲しく慌しく過ごしましたが、翌日はいつもの家事があり洗濯物を畳んでおりました。その中に昨日まで夫の着ていた下着があり、「ああ、もうこれを着る人は居ないんだなあ。」と思つたら、なんとも言い表せない気持ちになったものです。様々な手続きや泣いてしまう子供達の対処に追われて、この大節をなかなか受け止められずにおりました。

そんな中のある日、婦人会の先輩先生からお手紙を頂戴しました。最初にご丁寧なお悔やみのお言葉が記されており、その後に、「教祖は家族のみならず失くされて、最後は孫のたまへ様と2人きりになってしまわれたひながたのあることを思えば、自分はまだまだ恵まれてお導き頂いていることに喜びを見



するばかりです。」との、励ましの言葉がございました。ちょうど教祖130年祭活動1年目の旬でありましたので、教祖が強く背中を押して下さった気持ちで本当に有難く、私の教会長とし

ての元一日の言葉となつております。

月日は経つて、教祖140年祭活動の前にして教区長先生から教区の御用を拜命致し、届かぬながらも只今は、本年10月2日に開催される第1回教区祭の実行委員をつとめさせて頂いております。

大正7年の教務支庁開庁式に、2代真柱様と御母堂様が入り込みになられたその日の喜びを元一日として、これまでは教務支庁記念祭としてつとめられ100回を数えて参りました。この思いは同じくして、本年からは教区祭として、更に、教区祭の意義「もつと勇みしんじんを」を掲げて、同じ地域に暮らす教友が共に勇み合い、教勢進展と人材育成の場となりますよう、取り組ませて頂いているところがございます。教区内の皆様には、どうぞご協力を頂きますようお願いを申し上げます。

教祖140年祭活動2年目となりましたが、元一日を忘れず、心一つで陽気ぐらしができるというこの御教えを心に治めて、親神様教祖にお喜び頂けますよう勇んでつとめさせて頂きたいと存じます。

支部育成委員長会議

少年会

少年会は、4月1日、教務支庁で支部育成委員長会議を開催し、22名(12支部、リモート6名)が参加いたしました。



支部育成委員長会議

はじめに教区長先生にご挨拶いただき、続いての会議では、少年ひのきしん隊、こどもおちばがえりの相談を中心に、キャンプ、おとまり会など今年1年の活動について話し合い、協力や支部毎での行事開催をお願いさせてもらいました。

特に今年のものおちばがえりは、北海道教区隊として団参を計画し、おつとめ、記念写真、どさんこの集いなどを実施できるように、これから相談をしてい

きたいと思ひます。

親睦会では、歓談しながら先生方にいろいろなお話を聞かせていただき、楽しい有意義な時間を過ごすことができました。(団長大脇直丸)

定例にをいがけ やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、4月16日、定例の布教活動を行った。

当日の参加者は少なかつたが、いつもどおり2人一組になり、教務支庁周辺をにをいがけに回つた。

やまびこ会は来月以降も毎月16日と日を固定して活動して参ります。(代表 藤野充普)



2月 やまびこ会の様子

各地の動き

●みちのだいい育み塾を開催

札幌東支部婦人会（赤羽幸代主任）は、3月31日、養樹分教会を会場に母親講座から名称が変更後、はじめてのみちのだいい育み塾を委員長、婦人会員、子育て中のお母さんやその同年代の方を対象に開催し、0歳〜90歳までの43名（子供8名含む）が参加した。

心の成人へとつながるきつかけを頂こうと昨年より支部婦人会スタッフはねりあいを重ね、教区主事・北統分教会長中村圭一先生を講師にお迎えし、お話を聞かせていただいた。

中村先生は、ご家族をユーモラスに紹介くださり、仕事や学校に明るく楽しく励んでいる子供たちも、一人ひとりのお道に対する考えや個性もある中、ご夫婦で温かく育まれ、それが教会の明るい雰囲気としてあふれている印象で、教会の姿として、とても大切な事だと感じさせていただいた。

「知る者は、好む者に如かず。好む者は、楽しむ者に如かず」という中国の思想家「孔子」の言葉を親神様の教えからひも解いてお話しされ、改めて「思っているだけではなく、行動に移し、味わって楽しむこと」を促して下さったように感じ、未来を明るくしてくれるような心温まるお話をしてくださった。

「主催者側となり、初めての事で反省点もありましたが、今後へとつながるみちのだいい育み塾となりました。」と赤羽主任よりコメントいただいた。



みちのだいい育み塾

●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日



神殿掃除



防寒シートの片づけを

3月29日は、神殿掃除、2階ロビー、小会議室、廊下、トイレ、階段、2階・3階の防寒シート片づけ、窓掃除を行い15名が参加下さいました。ありがとうございます。



北海道教務支庁日誌抄

- 4月1日 青年会 Meets!
- 2日 少年会支部育成委員長会議
- 2日 一手一つお願いづとめ支部長会議
- 4日 福祉部支部担当者会議
- 4日 札幌中南支部例会
- 7日 青年会支部委員長会議
- 9日 学生担当委員会例会
- 9日 災害救済会議
- 9日 会計部会議
- 12日 しらゆき会例会
- 14日 基礎講座教務支庁会場
- 16日 やまびこ会
- 18日 教祖誕生祭選拜式
- 20日 しらゆき会合同例会
- 22日 札幌4支部学生会まなびば
- 24日 会計監査
- 24日 教区長帰本
- 25日 教区長会議
- 26日 本部月次祭選拜式
- 27日 主事会
- 27日 合唱団総会・定時練習
- 28日 幅下大（教務支庁にて）
- 29日 教務支庁ふせこみひのきしん
- 30日 教区長帰庁
- 30日 しらゆき会例会
- 30日 たすけ推進会議
- 30日 運営委員会

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。

教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選拜式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願い致します。

計報

立教一八七年・令和6年

- 水島 幸子様 1月29日出直（91歳）北ノ関分教会長（函館支部）
- 山本 ユイ子様 2月20日出直（93歳）久保内分教会前会長夫人（室蘭支部）
- 中尾 義一様 3月27日出直（56歳）大樹分教会長（十勝支部）
- 庄内 ナツ様 3月29日出直（94歳）陽登分教会長（室蘭支部）